

## STAR WARSのようなオープニングを作る

内容：プライベートでDVDを作成するとき、オープニングにスターウォーズのような文字が宇宙を飛んでいくような効果が欲しい場合、DRA-CADで簡単に作成することができます。ビデオ編集ソフトにもこの機能が付いている製品がありますが、DRA-CADなら細かな調整も可能です。

仕様：DRA-CADで文字を作成後、文字の線分化を行い、3次元データにして、アニメーションコマンドで、アニメーションの作成をします。後は、ビデオ編集ソフトで音楽等を挿入し、完成です。

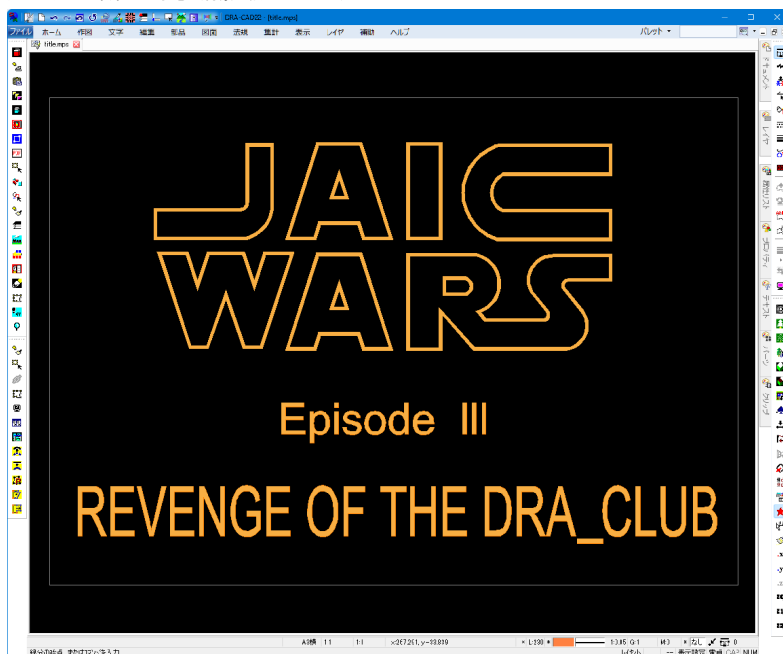
### 操作手順

#### 1. 作成したいタイトルや文字をDRA-CADで作成します

STAR WARSのような文字は、オリジナルを見ながら、ポリラインで作成します。他の文字は、入力後、[文字の線分化]を行います

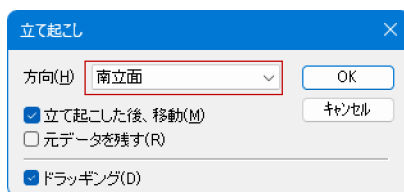


文字が入力し終わった状態（背景は黒にしている）

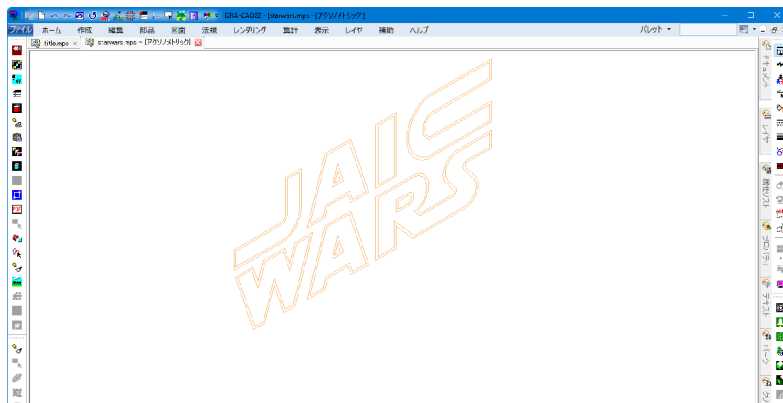


#### 2. 新しいファイルに作成した文字を複製し、立て起こす

[立て起こし]を実行し、方向は「南立面」を指定し、基点は、文字の下端を指示します



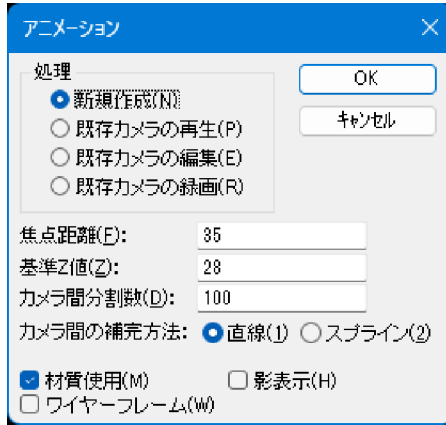
文字を立て起こしたところ



### 3. アニメーションの指定

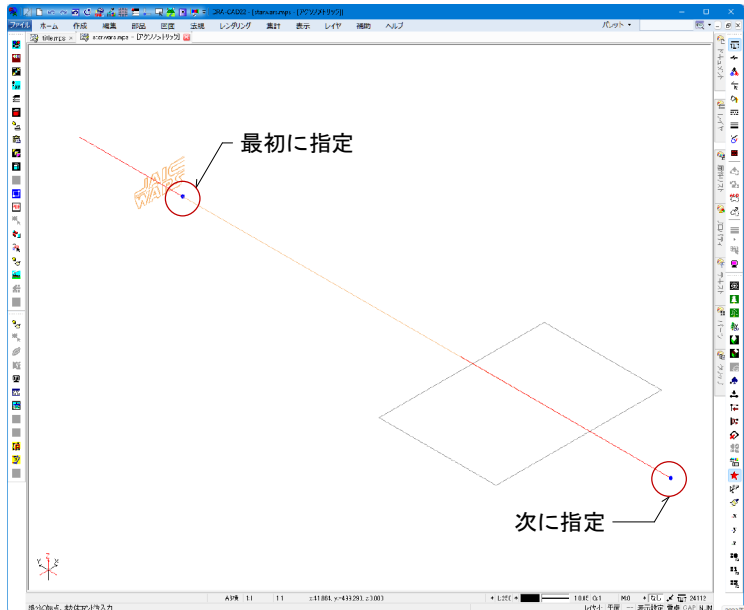
- ① [アニメーション] を実行し、「処理」の「新規作成」にチェックを入れます。  
 基準Z値は、建築の透視図では、目線の高さとして「1500」が一般的ですが、ここでは、タイトル文字の中間の高さを測定して記入します（ここでは「28」を指定しました）

[アニメーション] ダイアログ

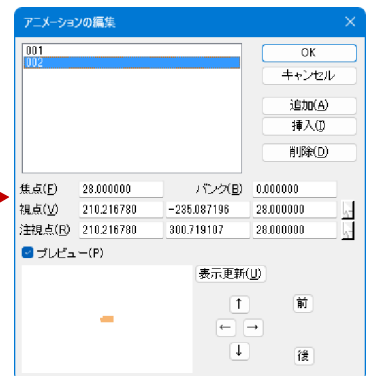


- ② 通常アニメーションのカメラは、視点が移動するように配置するため、手前から奥に指定しますが、ここでは、文字列が手前から奥に移動するようにしたいので、奥を最初に指定し、次に手前を指定します

[アニメーション] のカメラを配置したところ

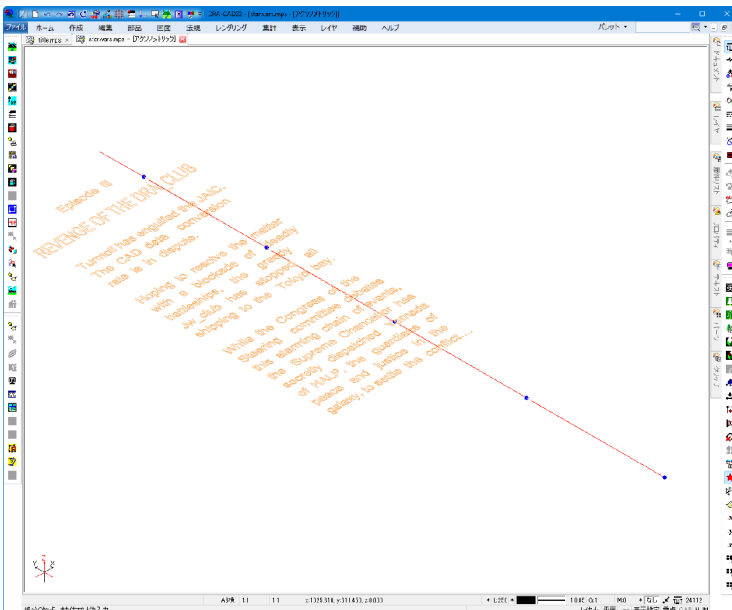


- ③ [アニメーション] の編集で確認すると、文字が手前から奥へ移動することが確認できます



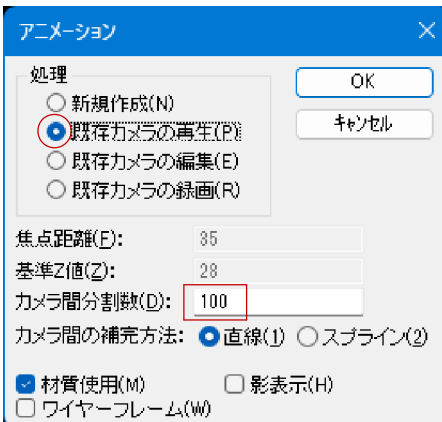
- ④ 別の文字列にも同様にアニメーションを設定します。  
 こちらは、文字列が長いので、カメラを5箇所配置して、カメラ間の分割数を増やし、ゆっくりとスクロールさせます

もうひとつの文字列に [アニメーション] のカメラを配置したところ



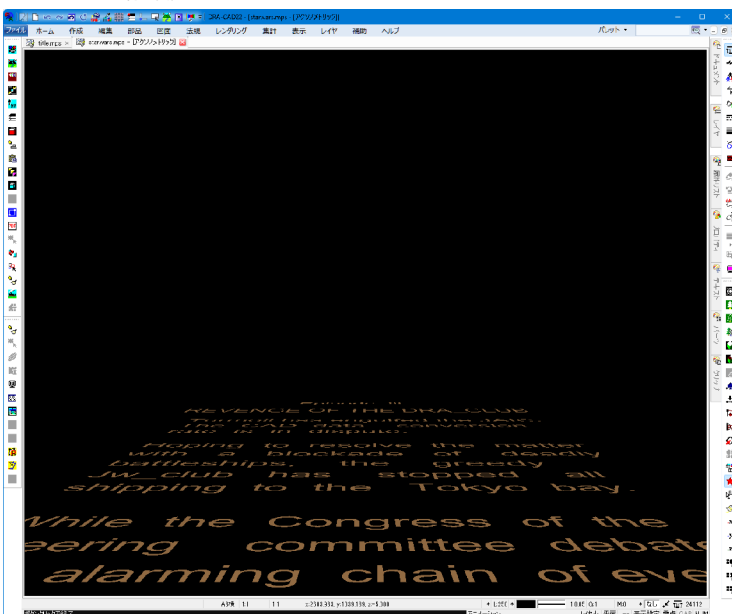
- ⑤ 確認のため、[アニメーション] の「既存カメラの再生」を実行します。  
 ここにある「カメラ間分割数」とは、アニメーションの再生・録画時に、指定したカメラとカメラの間を何コマで表示するかを指定するので、数字が多いほど動きがスムーズになりますが、計算時間がかかります。ここでは、「100」を指定しています。  
 なお、この例では、アニメーションの再生・録画時は、背景を黒くして行っています

[アニメーション] ダイアログ



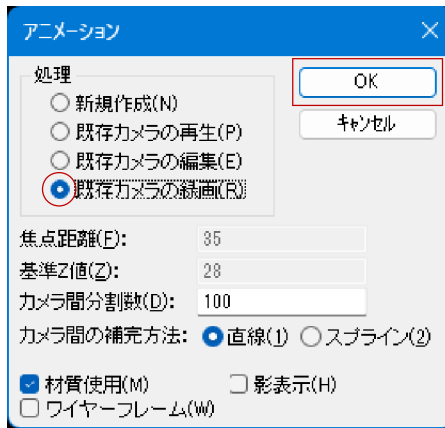
- ⑥ [OK] をクリックすると、OpenGL 表示でアニメーションが再生されます

アニメーションの再生画面



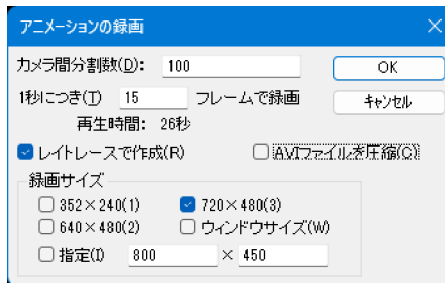
- ⑦ 確認して不具合がなければ、[アニメーション]の「既存カメラの録画」にチェックを入れ、[OK]をクリックします

[アニメーション] ダイアログ

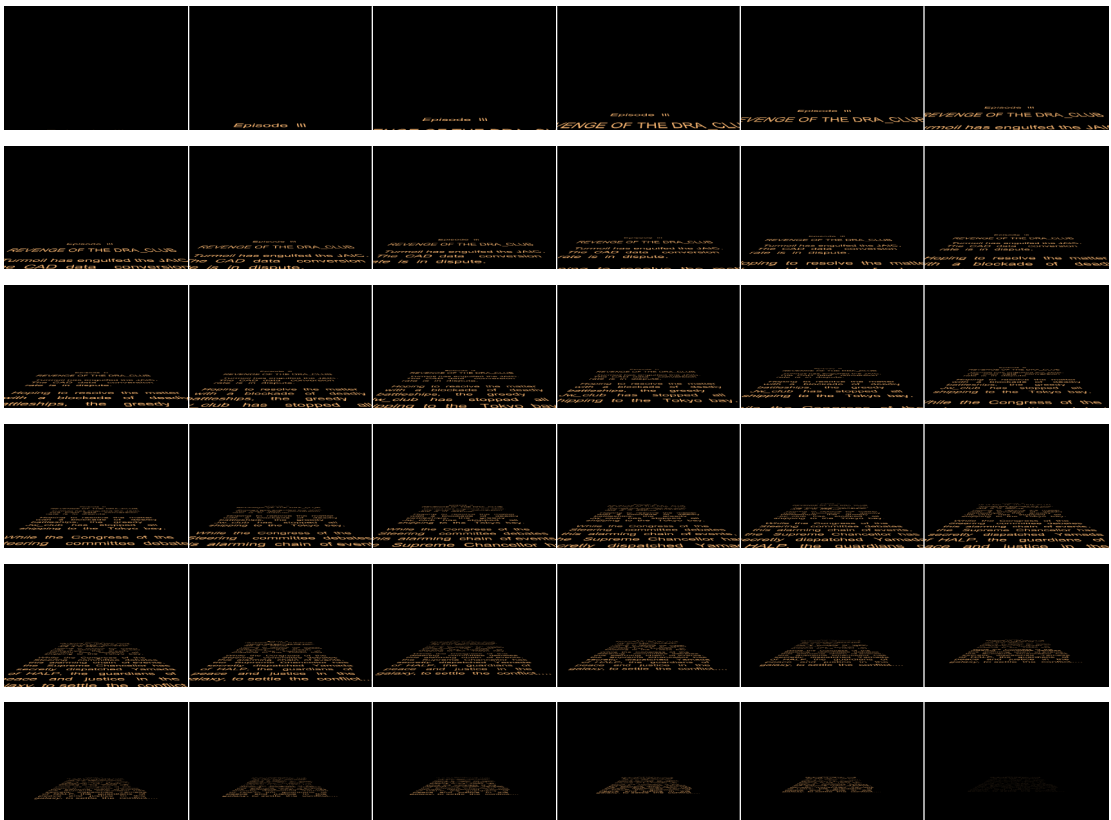


- ⑧ [アニメーションの録画] ダイアログが表示されます。「録画サイズ」は、通常「720×480」を指定しますが、16:9のワイド画面にしたい場合は、800×450を入力します「レイトレースで作成」にチェックを入れると、連続レンダリングした後、自動的にAVIファイルを作成してくれます。なお、公開しているデータは、レイトレースで作成しています。

[アニメーションの録画] ダイアログ



完成イメージ



完成した動画を見る ▶